

## 連合北海道女性委員会第 28 回定期総会報告

連合北海道女性委員会第 28 回定期総会が 9 月 30 日（土）14 時から TKP ガーデンシティ札幌駅前で開催され、9 産別 3 地区から 27 名が出席しました。議長には自治労の大浦 三奈さんが選出されました。



まず主催者を代表して山田悦子委員長から挨拶がありました。山田委員長は所属産別の事業で参加したスウェーデンの視察について、「子どもが 1 歳まで育児休業を取り、その後は保育が完備され保育所に入れないということはない」と、ジェンダーギャップ指数が 4 位のスウェーデンの実情についても話がありました。続いて連合北海道を代表して齊藤勉副事務局長が挨拶し、最低賃金の引き上げや無期転換ルールについて

てふれました。

つづいて畠山みのり道議、篠田江里子札幌市議、村上裕子札幌市議の 3 名の来賓から挨拶を受けました。篠田市議からは「休日保育の充実を市に求めた」との報告がありました。

議事に移り、執行部から、2017 年度の経過と総括、2018 年度活動方針案の提案がありました。活動方針案では、連合「第 4 次男女平等参画推進計画」のとりくみをすすめていくことに関連して、連合北海道でも執行委員や機関会議の代議員に占める女性の割合を高める必要があることなど説明がありました。自治労の構成員が討論に参加し、「自治体職員の年齢層の偏りがあり、世代間の引継ぎが課題になっている。女性の集まる場が必要」という補強意見がありました。その他の質問意見はなく、第 1 号議案第 2 号議案ともに賛成多数で可決されました。

産別交流では、北教組から長時間労働是正のとりくみ、小樽地区連合から食料廃棄問題をテーマにした学習会のとりくみについて、それぞれ報告がありました。林野庁の職員からなる林野労組からは、「男性の多い職場だが女性も増えてきているので、女性用トイレを増設させるなどの要求をしてきた。すぐには実現されないものも多いが、密に連携をとって要求を実現していきたい」という報告がありました。

最後に 2018 年度の役員選出が行われ、浅野美紀幹事（自治労）、福江真紀幹事（情報労連）の 2 名が退任し、山田委員長はじめ 13 名の役員・幹事が承認されました。

大浦議長のスムーズな進行のもと、2018 年度の活動方針を確認し、総会は終了しました。

